

# 日本で会える動物 【鳥類 1】

**地** 地獄谷野猿公苑でも、運がよければ、いろいろな日本の野鳥に会うことができます。



## ニホンキジ **大城須小**

分類：キジ目キジ科  
 英名：Japanese Pheasant  
 学名：*Phasianus versicolor ssp.*  
 分布：日本(本州、四国、九州)  
 全長：オス約 81cm メス約 58cm  
 翼開長：約 77cm  
 体重：オス 0.8~1.1 kg メス 0.6~0.9 kg  
 生態：日本の国鳥。平地から山地の林縁や草原、川原や農耕地などに生息。日中は地上で行動し、夜間・睡眠時は天敵から身を守るため樹上にいる。オスは興奮状態になると、赤い皮ふの部分大きく膨らませて威嚇する。メスは、全体的に茶色の羽色。これは抱卵の際、保護色となる。草木の実・種子・芽・葉や昆虫・クモなどを食べる。

Photo: Omachi Alpline Museum



## ウズラ (家禽種) **須**

分類：キジ目キジ科  
 英名：Quail (Japanese quail)  
 学名：*Coturnix japonica domestic*  
 分布：日本・中国を中心としたアジア東部  
 全長：20cm  
 体重：オス約 110g メス 130g  
 生態：キジ科最小。小さい体ではあるが、キジ科の中では珍しく群れをつくり渡りをする。草むらで種子やイモムシを好んで食べる。ウズラを家禽として飼育したのは日本が最初。

Photo: Suzaka Zoo



## ニホニヌワシ **須**

分類：タカ目タカ科  
 英名：Golden Eagle  
 学名：*Aquila chrysaetos japonica*  
 分布：日本全土  
 全長：75~95cm  
 翼開長：170~220cm  
 体重：3~4kg  
 生態：日本最大級の猛禽類。山岳地帯に生息し、断崖や高い木の上に巣を掛ける。哺乳類、鳥類、爬虫類などを食べる。オスよりメスの方が大きい。後頭部は光沢ある黄色の羽。

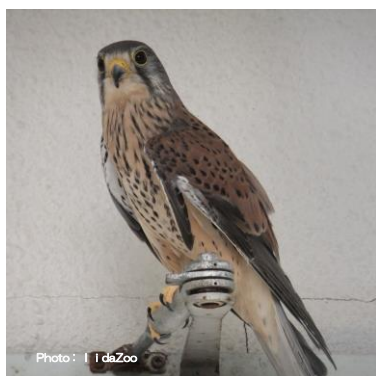
Photo: Suzaka Zoo



## ノスリ **松須**

分類：タカ目タカ科  
 英名：Eastern Buzzard  
 学名：*Buteo buteo*  
 分布：日本、中国、モンゴル、中央・南シベリア  
 全長：50~60cm  
 翼開長：100~140cm  
 体重：1~2kg  
 生態：平地から山地の森林に生息する。群れは形成せず単独もしくはペアで生活する。昆虫類、節足動物、陸棲の貝類、ミミズ、両生類、爬虫類、鳥類、小型哺乳類などを食べる。

Photo: Matsumoto Alps Park



## チョウゲンボウ **松大茶城小飯**

分類：タカ目ハヤブサ科  
 英名：Common Kestrel  
 学名：*Falco tinnunculus*  
 分布：ユーラシア大陸、アフリカ大陸  
 全長：オス約 33cm メス約 38cm  
 翼開長：約 69~76cm  
 体重：オス約 150g メス約 190g  
 生態：海岸や山地の断崖で繁殖する。近年では市街地のビルで繁殖した例がある。繁殖期以外は1羽で行動するのが普通。地上の昆虫類やネズミを捕る。小鳥の群れを襲うこともある。

Photo: Iida Zoo



## ハヤブサ **須**

分類：タカ目タカ科  
 英名：Peregrine Falcon  
 学名：*Falco peregrinus japonensis*  
 分布：日本全土  
 全長：40~50cm  
 翼開長：84~120cm  
 体重：0.5~1.3kg  
 生態：主にスズメやハト、ムクドリなどの鳥類を飛翔しながら後肢で捕えてエサとする。巣はつくらず、他の鳥類の古巣を利用したり、断崖の窪みを利用する。

Photo: Suzaka Zoo

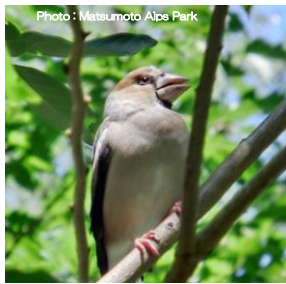
日本の鳥ではないですが・・・



## スバルバルライチョウ **大茶飯**

分類：キジ目ライチョウ科  
 英名：Svalbard Rock Ptarmigan  
 学名：*Lagopus muta hyperborea*  
 分布：ノルウェーのスバルバル諸島など  
 体長：40cm 程度  
 体重：500~1200g  
 生態：23亜種に分けられるライチョウの中で、最も北方に分布し、最も大型の亜種。ツンドラ気候で、夏でも平均気温が7℃程度の寒冷な環境に生息している。絶滅が心配されるニホンライチョウを、動物園で保護・飼育しなければならなくなることを考え、その飼育繁殖技術を確立するために、飼育されている。

Photo: Chausuima Zoo



## シメ **松**

分類：スズメ目アトリ科  
 英名：Hawfinch  
 学名：*Coccothraustes coccothraustes*  
 分布：ユーラシア大陸中部  
 全長：約 19cm  
 生態：平地から山地の落葉広葉樹林や雑木林に生息する。また、市街地の公園、人家の庭でも見ることができる。太い嘴で硬い種子を割って中身を食べる。

Photo: Matsumoto Alps Park



## カウラヒク **松**

分類：スズメ目アトリ科  
 英名：Oriental Greenfinch  
 学名：*Carduelis sinica*  
 分布：東アジア(日本ではほぼ全域)  
 全長：約 14cm  
 生態：低山から低地にかけての森林に広く生息する。植物の種子を食べることが多い。樹木の枝などの茂みの中に、枯れ枝や繭根などを使って碗状の巣を造る。

Photo: Matsumoto Alps Park

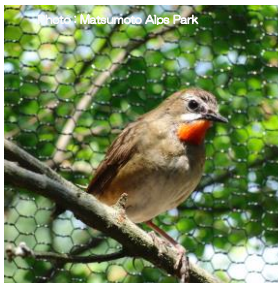


## キジバト **松飯**

分類：ハト目ハト科  
 英名：Eastern Turtle Dove (Oriental Turtle Dove)  
 学名：*Streptopelia orientalis*  
 分布：ユーラシア大陸東部 日本  
 全長：約 33cm 翼開長：約 55cm  
 体重：約 220g  
 生態：平地から山地の明るい森林に生息するが、都市部でも普通に見られる。樹上に小枝等を組み合わせた皿状の巣を作る。「デデッポッポー」と鳴く。主に果実や種子を食べるが、昆虫類、貝類、ミミズ等も食べる。雌雄同色。

Photo: Matsumoto Alps Park

生態：平地から山地の明るい森林に生息するが、都市部でも普通に見られる。樹上に小枝等を組み合わせた皿状の巣を作る。「デデッポッポー」と鳴く。主に果実や種子を食べるが、昆虫類、貝類、ミミズ等も食べる。雌雄同色。



## ノゴマ **松**

分類：スズメ目ツグミ科  
 英名：Siberian Rubythroat  
 学名：*Luscinia sylvane*  
 分布：【夏季】中華人民共和国、ロシアなど(繁殖) 【冬季】東南アジア(越冬)  
 全長：約 15.5cm  
 体重：16~29g  
 生態：日本では夏季に北海道に繁殖のために飛来(夏鳥)する。長野県では、春と秋の渡り時に通過する個体が確認されることがある。

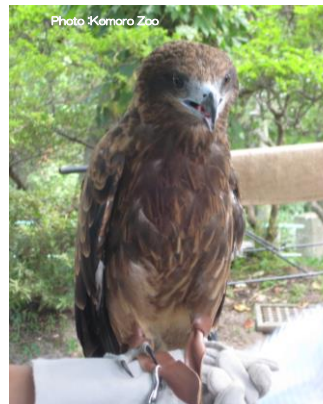
Photo: Matsumoto Alps Park



## オオタカ **松飯**

分類：タカ目タカ科  
 英名：Northern Goshawk  
 学名：*Accipiter gentilis*  
 分布：北アフリカからユーラシア大陸、北アメリカ大陸  
 全長：オス約 50cm メス約 56cm  
 翼長：約 106~131cm  
 体重：オス 600~800g メス 900~1200g  
 生態：九州より北では留鳥。繁殖期以外は1羽で行動する。主に鳥類を食べ、ネズミ、ウサギも食べる。

Photo: Iida Zoo



## トビ **松大須小飯**

分類：タカ目タカ科  
 英名：Black Kite (Black Eared Kite)  
 学名：*Milvus migrans*  
 分布：ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア  
 全長：オス約 60cm メス約 70cm  
 翼開長：約 157~162cm  
 体重：600~1500g  
 生態：高山から都市部に生息。繁殖期以外は群れで行動し、寝る時も集団で眠る。よく上空を輪を描きながら、数羽から数十羽で飛び、地上の食べ物を探す。肉食性で、おにも動物の死骸や小動物を捕まえて食べる。

Photo: Kamoro Zoo



## ハイトカ **松**

分類：タカ目タカ科  
 英名：Sparrow Hawk  
 学名：*Accipiter nisus*  
 分布：ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯  
 全長：オス約 32cm メス約 39cm  
 翼開長：62~79cm  
 体重：オス 590~810g メス 900~1210g  
 生態：日本では、多くは本州以北に留鳥として分布しているが、一部は冬期に暖地に移動する。低地から亜高山帯にかけての森林に生息する。鳥類や昆虫類などを空中または地上で捕食する。

Photo: Matsumoto Alps Park

生態：日本では、多くは本州以北に留鳥として分布しているが、一部は冬期に暖地に移動する。低地から亜高山帯にかけての森林に生息する。鳥類や昆虫類などを空中または地上で捕食する。



## フクロウ **松大茶城須小飯**

分類：フクロウ目フクロウ科  
 英名：Ural Owl  
 学名：*Strix uralensis*  
 分布：九州以北の日本各地  
 全長：50~62cm  
 翼開長：94~110cm  
 体重：0.5~1.3kg  
 生態：山地や平地の森林にすみ、飛ぶ音がせず、森の忍者と呼ばれている。平たい顔に大きな目が正面をむいて並んでつき、顔だけ動かせ。夜行性で、昼間は木の穴にいる。ネズミなど小さい動物を丸呑みで食べ、未消化物は口から吐き出す。(ペリット)

Photo: Omachi Alpline Museum



## オオコノハズク **松茶**

分類：フクロウ目フクロウ科  
 英名：Collared Scops Owl  
 学名：*Otus bakkamoena*  
 分布：日本、中国東部、東南アジアなど  
 全長：約 25cm 翼開長：約 55cm  
 体重：120~160g  
 生態：平地から山地の林に生息。日本で2番目に小さいフクロウの仲間。オレンジ色の目と羽角(飾り羽)が特徴。夜行性。肉食性で、小動物や小型鳥類、昆虫などを捕まえて食べる。

Photo: Omachi Alpline Museum